

2021年6月17日
SOMPOホールディングス株式会社

【業界初】タイのサトウキビ農家向け「天候インデックス保険」販売開始 ～丸紅株式会社、Productivity Plusと共に新商品を開発～

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO執行役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）の子会社であるSomp Insurance Thailand Pcl（CEO：Ms. Chayanna Siripirom、以下「SOMPOタイ」）は、丸紅株式会社（代表取締役社長：柿木 真澄、以下「丸紅」）、Productivity Plus Co.,Ltd.※¹（COO：Mr. Prawit Prakritsri、以下「Productivity Plus」）と共に開発した、タイで初めてとなるサトウキビ農家向けの「天候インデックス保険」の保険認可を取得し、Productivity Plusが提携しているサトウキビ農家向けに2021年5月から提供を開始しました。

1. 背景と目的

タイでは、近年の気候変動によって極端な干ばつなどの自然災害が発生しており、特に2019年は深刻な干ばつによって多くの農作物が被害を受けました。SOMPOタイでは、2010年にタイの東北部の稲作農家向け、2019年にはロンガン農家向けに干ばつリスクに対する「天候インデックス保険」を発売しています。

Productivity Plusは、気候変動に対するサトウキビ農家のレジリエンスを高め、安定的かつ持続的に良質のサトウキビを調達するために、丸紅と連携して、提携しているサトウキビ農家に保険を提供する検討をすすめてきました。

SOMPOタイは、稲作やロンガン農家向けの天候インデックス保険の開発ノウハウを活かすとともに、SOMPOホールディングスの主要海外事業会社であるSOMPO International Holdings Ltd.（CEO：Mikio Okumura、以下「SIH」）が立ち上げた統合プラットフォームである「AgriSomp」※²からの技術提供を受けてサトウキビ農家向けの「天候インデックス保険」を開発しました。

※1 Productivity Plus

タイ大手製糖企業の肥料事業を手掛けるグループ会社

※2 AgriSomp

世界各国のマーケットニーズに応じた農業リスクマネジメントソリューションを提供するために、農家・農業事業者、農業保険を取り扱う保険会社に対して、統一的な基準で保険引受（アンダーライティング）をし、一連の商品に対する専門知識と技術を提供することを目的にしてSIHが2017年11月に立ち上げた新統合プラットフォーム。世界の農業マーケットにおいて保険と再保険を提供している。

2. 保険商品の概要

（1）保険契約者

Productivity Plus

（2）保険対象者（被保険者）

対象地域のサトウキビ農業従事者のうち、Productivity Plusから特定の肥料を購入した提携農家

（3）対象作物

サトウキビ

（4）対象地域

チャイヤブーム県

（5）対象リスク

干ばつ（サトウキビの成長に必要な期間の少雨リスク）

(6) 補償内容

衛星全球降水マップ (GSMaP) ※3 をベースにした降水量データに基づき、特定期間の降水量が、あらかじめ設定した降水量を下回った場合に、事前に定めた金額を保険金としてお支払いします。

(7) データ提供機関

一般財団リモート・センシング技術センター (RESTEC) ※4

(8) 引受保険会社

SOMPOタイ (幹事) および他1社

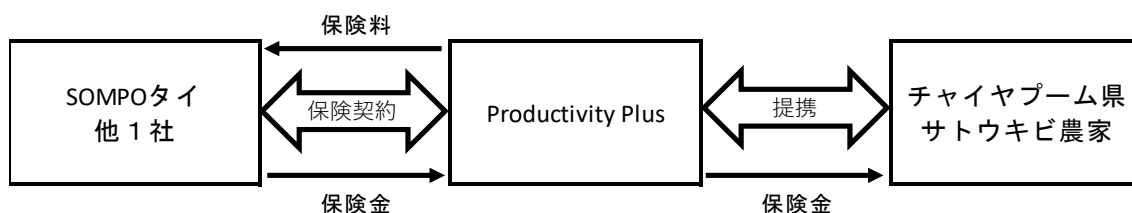
※3 衛星全球降水マップ (GSMaP)

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) が提供する、人工衛星からのリアルタイムの全球降水マップの名称。

※4 一般財団法人リモート・センシング技術センター (RESTEC)

人工衛星等を利用して、地球の現状を探索するリモート・センシングに関する総合的研究開発、サービス提供を行う一般財団法人。

<保険提供スキーム>



3. 今後について

SOMPOグループは、今後も気候変動の適応策、農業事業者などへのリスク軽減や持続可能な経営に貢献するため、保険商品の開発、普及を進めていきます。

SOMPOタイは、今後も丸紅、Productivity Plusと連携し、タイ国内の他県への展開などを通じて、サトウキビ農家の天候リスクの軽減と家計安定をサポートしていきます。また、世界各国の農業保険やリスクマネジメントで実績と知見を持つS I HのAgri Sompoのノウハウを活用し、タイの主要産業である農業のさらなる発展に貢献していきます。

以上